

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 産業振興課長 馬庭 正人 | 電話番号 | 0852-22-5291 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|--|---|--|
| 事務事業の名称 | 島根発ヘルスケアビジネス創出支援事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 県内企業、NPO法人等 | |
| | (2) 意図 | 新産業創出の新しい分野として「ヘルスケアビジネス」の創出による産業振興・雇用創出を目指す。 | |
| 事業概要 | ヘルスケアビジネス創出に向け、ヘルスケア産業推進協議会及び分科会において関係分野の方の意識醸成を図り、モデル構築支援事業を通じて、多様な分野と連携し地域資源を活用した先進的な取り組みを支援 | | |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 | | 年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------|---|------|------|------|------|------|----|
| 1 | 指標名 | ヘルスケアに関する新規事業化件数 [平成27年度からの累計] | 目標値 | 1.0 | 4.0 | 6.0 | 8.0 | 件 |
| | 式・定義 | 国及び県のモデル事業を活用したヘルスケアに関する新規事業化件数 [平成27年度からの累計] | 実績値 | 0.0 | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | - | - | % |
| 2 | 指標名 | | 目標値 | | | | | |
| | 式・定義 | | 実績値 | | | | | |
| | | | 達成率 | - | - | - | - | % |

3. 事業費

| | 前年度実績 | 今年度計画 |
|--------------|--------|--------|
| 事業費 (b) (千円) | 57,696 | 62,108 |
| うち一般財源 (千円) | 57,696 | 37,133 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|--------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ⑤今年度新規 |
|---------------------|--------|

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 平成27年7月に、高等教育機関、医療・福祉分野、商工団体等の各分野の代表で構成されるヘルスケア産業推進協議会を設立 協議会の下に分科会を設置し、セミナーや先進視察などを行い、事業者の取組を促進 モデル構築支援事業は8件を採択し、事業化に向けた取組を支援 |
|--|

6. 成果があったこと (改善されたこと)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア産業推進協議会の下に置かれる分科会において、セミナー及び先進地視察を実施。事業者、高等教育機関、商工団体、市町村など多様な分野からの出席を得て、意識醸成が図られた。 モデル構築支援事業では、8件を採択し、事業を実施。ヘルスケアビジネスの事業化に向けた取組が行われた。 |
|---|

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

| |
|--|
| <p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい分野のビジネスであることから、ヘルスケアビジネスを事業化するまでには相当の時間が必要。 事業者を含め、県民のヘルスケアビジネスに対する理解が十分に進んでいない。 |
| <p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規事業であり、取組が緒についたばかりである。ヘルスケアビジネスに対する県民の理解・関心が高いとは言えない。また、事業を開始したとしても、新たなビジネス展開を求めるものであり、課金システムの構築や受け手側がお金を払うことへの理解などの課題を解決する必要があることから、事業化と言えるまでには相当の時間が必要である。 |
| <p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> ヘルスケアビジネスに対する県民の理解・関心を高める取組が必要 事業化に向けた取組について、様々な視点から支援していくことが必要 |

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、分科会でのセミナーやモデル構築支援事業を実施することにより、ヘルスケアビジネスに対する関心を高め、事業化に向けた取組を促進していく。 前年度実施のモデル事業の案件をフォローアップし、事業化に結びつける。 協議会においては、ヘルスケアビジネス推進に向けて、課題の共有や課題解決に向けた連携を進める。 ヘルスケアビジネスを牽引する事業者を対象にした人材育成講座などを開催し、新規事業の展開を促進する。 |
|--|

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価 (任意記載)

| |
|--|
| |
|--|